

V. 道路行政の進め方についての具体的提案

1. 説明責任の向上とスケジュール管理

- (1) 道路整備の必要性・緊急性の客観的な検証
- (2) 今後計画的に進める道路整備の内容の提示
- (3) 供用目標の明示とスケジュール管理の徹底
- (4) 用地取得の迅速化

2. コストの徹底的な縮減

- (1) 調達方法の改善・日常管理の水準見直し・新技術の活用などによる一層のコスト縮減
- (2) 工期短縮による道路交通障害の短期解消

3. 多様な主体のパートナーシップによる行政運営

- (1) 行政機関間及び官民の境界を越えた取り組みを推進
- (2) 上位計画から市民の参画した道路計画体系の構築
- (3) 地方の創意工夫を引き出す補助金制度の工夫

4. 新技術の活用

- (1) 環境や社会科学など他の分野の技術や知見の道路政策への活用
- (2) ITS 技術の進展と普及及びそれを前提とした道路構造の検討

5. 法制面からの検討

- (1) 新たな道路行政にふさわしい道路法制の検討